地域から多文化共生を推進しましょう

東京には様々な国・地域の出身の方が住んでいます。
20 年後の 2040 年には、都内の 10 人に 1 人が外国人になる、
とも言われています。これからの地域においては、様々な人々が一緒に
安心して生活できるようになることが必要であり、そのような社会を
「多文化共生」社会と呼んでいます。

※都内の在住外国人：58.1 万人（総人口の約 4%）、187 の国と地域（令和 5 年 1 月 1 日現在）

こんな風に思っていませんか？

英語も中国語も話せないし･･･

生活ルールが違うし、
関わるとトラブルになるのでは･･･

違う国から来た人と話すのは、
ちょっとこわいな･･･

確かに、国によって言葉や習慣が違います。
でも、同じ住民として、地域で気持ちよく暮らしたい思いは一緒です。
外国人には若い人も多く、地域社会を盛り上げる大きな可能性があります。

じゃあどうすればいいの？

1！ まずは話しかけてみましょう

外国語ができなくても大丈夫！
まずは「やさしい日本語」で話をしてみましょう。

「やさしい日本語」とは？

外国人等にも配慮して、単語を言い換えたり、少し工夫をすることで、分かりやすくしたものが「やさしい日本語」です。日本にはたくさんの外国人が暮らしていますが、その多くの方が「やさしい日本語」を理解することができると言われています。優しい気持ちで易しい日本語を使うことで、外国人だけでなく、小さな子どもやお年寄り、障害のある人とも
よりよいコミュニケーションを図ることができます。

（例）禁煙　→　ここでは　たばこを　すうことが　できません
　　土足厳禁　→　くつを　ぬいでください
　　可燃ごみ　→　燃やすことができる　ごみ

やさしい日本語キャラクター
やさカニくん

2！ ルールなど、分からないことは どんどん教えてあげましょう

**様々な人々がお互いに認め合い、
助け合う地域社会をつくりましょう！！**

主催:東京都町会連合会　「令和 5 年度地域の底力発展事業助成」対象事業